

待望の  
第2弾!!

# GPのための 床矯正・矯正のすすめ 活用編

詳しい情報はこちら



## ドクター・スタッフ&患者のコラボレーション

鈴木設矢 編著 (床矯正研究会主幹 / 東京都開業)

不正咬合なにが問題? なぜ治療が必要なの?

診査・診断・治療方針は?

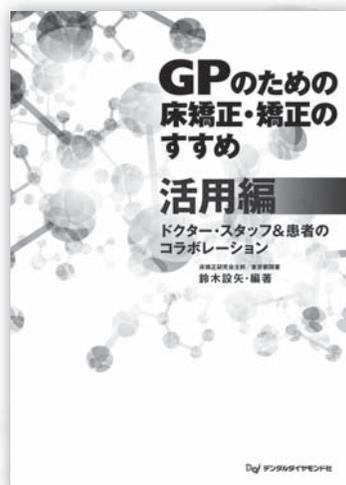
患者に言っではいけない言葉がある?!

ドクター・スタッフの役割とは?

床矯正治療のそんな “ ? ” に答えます。

2008年に発行した「GPのための床矯正・矯正のすすめ」の活用編。来院した患者さんに対して床矯正治療をどのように行っていくか、ドクター・スタッフと患者さんとの関わり、患者さんとの会話を含めたケースプレゼンテーション、患者さんの率直な感想などに視点をあて、歯科医院における床矯正治療に対する?に答えている。

A4判・260頁・オールカラー 定価(本体16,000円+税)



### CONTENTS

#### 1章 床矯正治療の4つのStep

**Step1** 床矯正始めましょう(患者さんがやってきた)

- 矯正治療の依頼がありました ● 子どもたちは矯正治療にどのくらい関心があるのでしょうか? 他

**Step2** なにが問題か、なぜ治療が必要なのか

- 不正とは何でしょうか? ● 不正咬合の発症原因の多くは、家庭環境が大きく関連していると考えます 他

**Step3** 診査・診断・治療方針

- 診査は病態だけを診るのではない ● 矯正の治療対象は歯列だけ? 他

**Step4** 床矯正装置の活用とメンテナンス

- 処置と保定に向けて ● 動的床矯正装置と機能的床矯正装置 他

#### 2章 床矯正治療 医院&患者のスタンス

医院全体のコラボレーション / 患者とのコラボレーション

- ①ドクター進行 ②スタッフ進行 ③ドクター&スタッフ進行 ④患者進行

#### 3章 ケースプレゼンテーション

- スムーズに進行した症例 ● スムーズに進行しなかった症例

トラブルを防ぐための床矯正コミュニケーション法 OKワードとNGワード